
はかなく遠く

桜楓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

はかなく遠く

【Nコード】

N9378H

【作者名】

桜楓

【あらすじ】

高校生の火野悠^{ヒノユウ}と水地唯幼^{ミズチユイ}なじみだ。ある日唯は交通事故で…。そして悠は自分の本心に気づくことになる。

「俺たち…近すぎたのかなあ？」

悠は、小さく呟いた……。

俺こと火野悠と水地唯は幼なじみだ。学校ではいつも同じクラスで席もとなりだ。唯は毎朝、俺を起こしにくる。俺が低血圧なことなどお構い無しだ……マジでやめて欲しい。

そんな俺達を学校のみんなは冷やかす。唯は迷惑じゃないのか？

空が茜色に染まったある日。俺と唯は一緒に帰った。

「あゝ。マジでなんなんだろうなゝあいつら。」

「そんなこと言わないの！きっと羨ましいんだよみんなは。」

「そうかなあ？俺にはただの迷惑にしか聞こえないんだけど……」

「もっと大人になりなよ悠！それもみんなの愛情なんだよ」

「そうか……」

「あんた嬉しくないの？」

「なにがだ？」

「もういいよ！！」

唯は走って行ってしまった。

「なんなんだよ！まったく」

いつのまにか茜空は色を失い始めていた……。 「悠って好きな子いるの？」

突然、唯からメールがきた。正直、驚いた。唯は、家が近いからメールなんていらねえね。と言っていた。驚きながらも返信した。

「いねえよ！んなやつ」

「そうなんだ。私にはいるよ好きな人。」

「へえ。意外だな。お前にそんなこと無縁だともってたよ。」

「ひどいよ。私だって恋の一つや二つしたいわよ!」

「で、誰なんだ? その好きなやつって」

「秘密だよ」

「なんだよ教えてくれたっていいじゃねえかよ」

「ダメ」

「ちえっ」

「そんなことより、悠に相談にのってほしいの」

「どんなこと?」

「恋ってどうしたら成功するとおもう?」

「そんなこと知るか」

「お願い!!」

「相手との距離がちょうどよかったらいいと思うよ」

「どういうこと?」

「相手との距離が近すぎると相手からの恋愛感情がとなくなり、遠いとそのおもいが伝わらないっていうこと」

「わかったよ。ありがとう」

俺にはどうして唯がこんなことをきいたかまだ理解してなかった。

翌朝、唯が俺を起こしにきてくれなかった。遠くから救急車の音がきこえる。

「悠! 悠!!」

お袋があわてて俺の部屋にはいつてきた。

「なんだよ? あさからあわてて」

お袋は泣いていた。

「唯ちゃんが、唯ちゃんが」

「唯がどうしたんだ?」

「交通事故でいま病院に」

「……………本当に?」

俺は言葉を失った。

「とにかく病院に」

お袋と一緒に病院に向かった。

病院では唯の父と母がいた。

「悠君、唯はもう死んでしまったんだ」

「……………え？」

「医者 of 先生に言われたんだ。打ち所がわるくて脊椎がやられてしまったんだ」俺は目の前が真っ暗になった。

「唯が、君に会いたいそうだ。いつてきてくれ」

唯の母は、ついに泣き崩れてしまった。

唯は、ベッドで眠るようにいた。別に血はでていなかった。ただ眠っていたようだった。俺はなにも声をかけられなかった。

唯が死んで俺は、初めて自分の本心に気づいた。俺は唯が好きだったんだ。

俺は馬鹿だ！大馬鹿野郎だ！！唯が近いから逆に気づくことができなかった。

「俺達：近すぎたのかなあ？」

俺は小さく呟いた…。

（後書き）

私が初めて書いた短編小説です。私は小説を読むことが好きです。今回小説を書いてみて、小説の難しさがよくわかりました。これからも頑張りたいのでよろしくお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9378h/>

はかなく遠く

2010年12月19日14時03分発行